

報告会で原子力機構に対して皆様から頂戴した主なご意見

1. 報告会内容について

報告会の内容で「理解できないことがあった」「理解できなかった」理由は、

- ・ 技術的に難解な部分があった
- ・ 国際分業の分担の仕方
- ・ テクニカルタームの定義が一部わからなかった
- ・ 大体は理解できるが科学的知見の不足で詳細は理解できない
- ・ 総論に至る論理かつ概念的で説得力がないので、理解しにくい。専門家に理解できても一般人には理解困難。話し方も工夫が必要。最悪。原子力村の村意識から脱却していない。本項の説明がない
- ・ 「もんじゅ」の立ち上げまでの手順と技術的課題、民間企業との協力の進め方（やっていることはわかったが、どんな組織があるのかがわからなかった）
- ・ 専門的な話は理解できなかったが、私が詳しくないだけなので今後省略したりする必要はないと思いますし、残していただきたいと考えます
- ・ JAEA関係者以外の参加者にも理解できるような説明の仕方（背景なども含めるなど）が必要だった。まだ役人的な風土が感じられた
- ・ 単に「優れた」「革新的な」「改定された」等の表現でなく、どこがどのように改善されたのかの具体的な根拠を示してほしい。抽象的な表現だけでは説得力がない
- ・ FBRサイクル概念abcの絞込み過程、判断基準、コンパクトがん治療器
- ・ 全体に概念的、美辞麗句の羅列ばかりで生きた気持ちが伝わってこない
- ・ 企業名かどうか分からないが、不明の言葉が出てきた
- ・ 放射光とイオンビーム他との違い/区分、ITERの国内展開についてスケジュール、場所、要員、体制等
- ・ 概要はわかるがスピードが早すぎて詳細がわからない
- ・ 総括報告において「豊かな未来社会」とはなにか、その中で4大プロジェクトが選ばれた理由が不明確でした。技術総括でナトリウム冷却炉とヘリウムガス冷却炉が選ばれた根拠が不明確でした。鉛ビスマス冷却炉は材料腐食の問題が強調されて除外されましたが、国内外の耐食材料の開発状況やGIFでの協力の可能性を全く引用せず、そのポテンシャルを否定してなされた順位づけとなっています
- ・ 原子力機構の目指すもの・・・豊かな未来社会実現に向けてと目標が述べられているが、エネルギーの長期的な安全供給、以下の説明において、如何に豊かな未来社会が実現されるか、そのイメージがつかめなかった。特に現在のエネルギー（原子力）の主体であるLWRの未来像に対する強い安全研究の説明がなかったことは、通り一遍の従来から変わらない説明に映った

- ・ 自分の専門的知識不足故理解できなかった。一般人も理解しやすい内容をお願いします
- ・ 時間に比べて説明内容が多いので頭がついて行かない
- ・ 表面的な説明が多く、研究開発の実態が不明確
- ・ 一般的な考えとして、一般人には難しい気もする
- ・ トカマクとか余り聞いたことがない専門用語が多く難しすぎる
- ・ 最先端データを報告し合っていた時期を終え、今どうしようとしているのか、何十年後かに実用化するのは本当か
- ・ 先生方全員、内容もまとめ方もわかりやすく盛りだくさんだったと思う
- ・ リサイクルの回数、プルトニウムの使用限界（原子炉での使用年数限界）、安全評価の対象自称の意味が体系的に理解しにくい
- ・ 専門分野を一般の方にどう理解していただくか、が重要です。この点で、核融合の部門長の発表は特に良かった
- ・ FBR システムについては、実用的なリサイクル効率の目標がわからない。量子ビームについては、話が拡散的。求心的な理念に欠ける。核融合については、メッセージ性に弱い。単なる国際協力のオンパレードではだめ。「国として」が欠ける
- ・ 予算不足の声を良く聞く JAEA プロジェクトだが、6~7つの主プロジェクトの予算実績と予算予測が見えない。実用化研究フェーズ について、国の評価中とのことだが、その様子、手法、手順、技術面、予算面、スケジュールリングなどがわからない。JT-60から ITER に展開することの目的はなにか、基礎科学における発見がきたいされているのでしょうか。産業界、大学などとの連携はどうなっていくのか
- ・ 与えられた時間内で、限られた情報量を理解しやすいように説明されたのは、特に核融合の報告が一番良かったと思う
- ・ 個々の発表が総花的であったことから、個々の内容を知ったもの以外は説明の早さについていけない。テーマ毎の発表を折に触れて行なってほしい
- ・ 総括報告内容が総花的で、何を主張したいのか不明瞭である。報告した内容を文章にしてHPで公開してほしい。全体としては大変良かった
- ・ 配付された要旨集に従って説明が進み、大変わかりやすかった。ご意向が読み取れて大変心強く思いました
- ・ 物量低減について、実用化候補概念では格納容器が見られないし、炉型も複雑化している。耐震性（免震機構）耐事故性（LBBの適用性など）も含めて実用化できない概念を含めてしまっているのではないか
- ・ FBR が技術的に選んだ場合に電気料金としての価格の見直しをどのように考えているのか触れてほしかった
- ・ FBR の仕組みをわかりやすく説明してほしい。処分の流れをもっと説明してほしい
- ・ FBR の開発スケジュールが遅すぎないか。それでエネルギー需要に間に合うのかどう

かの妥当性がわかりづらい

- ・ Na 冷却のメリットの説明なしで、なぜ進めるのか理解できなかった
- ・ FBR の安全性について説明がなかった
- ・ FBR は専門用語の羅列で頭が追いつかない。説明図をポインターで押さえながら従来と新技術開発結果をもっとゆっくり話してほしい
- ・ FBR サイクルシステムの要素技術について、細かな点まで触れて説明していただき、具体性が高く興味深いと思いましたが、反面、予備知識の不足のため、個々の技術について理解できない点が多かった
- ・ FBR で、高温ガス冷却をほとんど説明しなかったのは不満。FBR は時期が遅れたこともあって、新たな利点を付加しなければもうアピールしないと思う。c でなく高温ガス冷却を a にして、多目的利用を担うべきと思う。旧原研の HTTR との融合型も可
- ・ ナトリウム冷却炉概念に提示された炉概念が実用化戦略に示された開発目標のうち経済性に対して有効なことは理解できるが、安全性についてはどのようなになっているのが理解できなかった
- ・ 量子ビームの具体的な活用等、産業界との連携等に触れてもらいたかった
- ・ 量子ビームの産業利用範囲が広がっているのは理解できたが、技術の本質がよくわからなかった
- ・ 量子ビームの説明については、現象の説明がないため理解できないことがあった
- ・ 量子ビームテクノロジーの諸外国での状況についての説明が皆無であった
- ・ 量子ビームがこれほど身近に利用されることに驚きました。地層処分では 100 年に渡る事業のための知のシステム構築に納得した。核融合ではヒューマン国際的な受入態勢にまで留意したことを共感した
- ・ 地層処分の報告で、一言実際の処分地の選定について説明がほしい
- ・ 日本が ITER 誘致で敗れた理由が不明。ITER 関係は日本がリードしているのに、ヨーロッパに拠点に移るのは大変残念です。政治的な力関係の結果でしょうが、日本がかなり損をすると見えています。本来日本はもっと独自でやれるのではないかと思います。このままでは、日本の蓄積が全て他国に吸収される気がします。防ぐ対策はしなくても良いのでしょうか
- ・ 理解できないことがあったのは、自分が専門外の一般人であるため、基礎的な知識や理解が不足しているためで、止むを得ないことと思う。核融合の研究開発に国際強力が見事に行なわれていることは、十分に理解できたので、それで十分と思った
- ・ 核融合が人類の将来のエネルギーにどのようなステップで貢献するのか、その中で今の研究開発の位置付けを示されないと単に巨大プロジェクトという印象だけ

2. 報告会の運営について

今後報告会で取り上げてほしいテーマ等

- ・ 組織としては今回のような陽が当たるテーマを取り上げるのは当然であるが、テーマあるいは内容に「苦心した話」「うまく行かなくて工夫をこらして目的を達した話」を入れてほしい
- ・ 世界の原子力開発状況と各国の特徴、そして日本のコンピタンス、原子力の物理、量子力学的可能性応用の夢、例えば、室温核融合の評価はどうなっているか
- ・ 報告会は誰に対してやるのかを考えてほしい。発表者の話し方の工夫は必要
- ・ 高温ガス炉、水素製造、核変換技術
- ・ 高温ガス炉について 南ア、中国では実証炉として計画が進んでいます。研究炉として最先端の技術のある日本では今後どのように進める計画か
- ・ 基礎科学的なテーマも取り上げてほしい
- ・ 次回からテーマを締って行われるとよいと思います。来年はF Sの話を中心にやってください
- ・ ジャーナリストはよいですが、国家戦略的見通しや技術者が忘れがちな世界情勢などを啓蒙してくれるような話を聞いてみたいです
- ・ ウラン探鉱の COME BACK
- ・ NUMO の公募に応じてもらうためにはどのような研究が必要かについて
- ・ 広報誌では、取り上げにくい内容、例えば人材育成や技術伝承を取り上げてほしい
- ・ 国内第2再処理への取り組み
- ・ どのようなテーマでも良いが、時間をかけてじっくり説明してもらいたい
- ・ 原子力安全に関するテーマ
- ・ 研究開発の現状と将来発展の講演の中で環境との調和、安心安全が目指すものとして示されたが、その中味の説明がなされなかった。原子力エネルギー利用の安全・安全についての研究を中心として取り上げてほしい
- ・ 今回は最初だから止むを得なかったのだろうが、大本営発表的にすぎた。大プロジェクトでないテーマも取り上げてほしい。単なる研究段階のものも、可能性と芽が大切。
- ・ エネルギー分野の縦割りでの原子力に特化しないで、全分野の長・短所と比較しながら理解させる
- ・ 核不拡散
- ・ サイエンスからテクノロジーまでとありましたが、サイエンティフィックに興味深いテーマが少なかったように思えたのが残念
- ・ 細かい技術議論は必要ないが、当該技術の評価、反対の見解の対比
- ・ 海水からのウラン回収及びトカマク型以外の核融合の研究
- ・ 放射線医療
- ・ 原子炉廃炉 R&D

- ・ 新技術の社会の受容性を高めるためのリスクコミュニケーションは、現在の機構のスクープ外と思いますが、公的機関での組織的な研究が必要かと思います
- ・ 一つのスライドに書く内容が多すぎて、報告としては理解しにくい。高速炉サイクル技術は、国家機関技術に指定されたに於ては、一般に対する説明能力は弱いと感じる。
- ・ 保障措置に関わる研究開発、社会技術としての原子力について
- ・ もんじゅ再開と今後の利用計画、放射線利用開発と今後の展望
- ・ 高温ガス炉及び水素製造プロセスの研究開発、デコミッショニングに関する開発状況
- ・ 別途 FBR サイクルのみの報告会
- ・ 水素製造について
- ・ 高温ガス炉及び水素製造
- ・ 日本の産業界の貢献がいかん JAEA の運営に寄与していることの発表もあってはいいのでは。JAEA の年次報告という性格をもたせるとすれば、今年は何ができたのかを説明する発表がある
- ・ 原子力の PR をもっとすべきで、安全性のテーマのシンポジウムはどうか
- ・ 安全研究
- ・ 放射性廃棄物 (HL / LL) の処分で、NUMO と原子力機構との連携作業
- ・ 次世代炉として 1 番重要な熱中性子炉に関するテーマが全く抜けているのは、どうかしているのではないか。出来ないことより、後に役立つことをすべきだ
- ・ 総括報告について、国内外の報道に関連して、補完的な理解を深める内容の講演としてほしい。一方的に伝える内容になっており、必ずしも聴衆の関心事と一致していない
- ・ 基礎研究、国際協力部門の現状と成果
- ・ ライフサイエンス (医療) 分野への応用
- ・ MA の実用性ある処理処分の見通し。LWR に比し、利失あればもう少しきれい式でなく、具体的に述べていかれたら如何。仏米の新たな見解を織込んで
- ・ 一般市民の信頼構築に向けて、どのように取り組みをしていますか

報告会の運営について意見・要望

- ・ 第 1 回目のためかテーマも適切で資料もよくできていた。休憩時のロビーは人があふれとても展示を見るところではなかった
- ・ パネル討論的、質疑応答的仕掛けがあっても良い。質問だけではあまり質疑が期待できない
- ・ 原子力を進めるに当たっては研究開発の中、事故は当然にあり得る。もんじゅの事故の反省が殆んど報告ないのが異様である。原子力に対する世論を根本的に替えるという気魄がなければ、もんじゅの計画的発展は望めない
- ・ 長期的視野での計画がされていることがわかった
- ・ 展示をゆっくり見る時間が欲しかった。展示の数も少なすぎる。会場が狭すぎるのが問

題。以前のように東京国際フォーラムの大ホールを貸しきりにする必要はないが、もう少し広い場所を考えたらどうか

- ・ 各発表がどの程度の知識レベルの人を対象にしているのか不明。もし一般の人を対象としているのなら、説明の仕方を考える必要がある
- ・ もう少し広い会場をお願いします
- ・ 室温が高い。クールビズの旨、来場前に連絡してほしかった
- ・ OB及び関係者以外で多数参加できうる方向にすべきではないか
- ・ 原子力・未来への挑戦は、テーマとしては、日本の原子力エネルギー実体である LWR 今後のガス炉に関して、取り上げられていないのは、原研とサイクルの総合安全研究機関としての姿が不十分と感じられた。LWRの安全研究はどこへ行ったのかの感じであった
- ・ スタッフのご苦労感謝します。継続を期待します
- ・ 特別講演を中間にはさんで、もっと休憩時間がほしい
- ・ 今回の4つのテーマが非常にバランス良い配分でした。興味深い報告会でした
- ・ さらに詳しい内容を知りたい人のために、参考資料等を示してほしい
- ・ 最近の成果として説明をしてほしい（何が成果として得られたのかがわかるように）
- ・ 案内パンフに「顔」や「キーワード」が不足
- ・ 概ね良好。但しロビーが狭い。情報交換の場でもあるので、もう少しスペースがほしい
- ・ 受付の対応もプログラムの進行も大変よく感心しました
- ・ 運営自体は良かったと思うが、会場、特にロビーが狭い
- ・ 休憩時間で業務活動報告映画を放映していただけたのは有意義でした。特に廃止施設関係の動向がわかりました
- ・ 沢山の事業内容がある中で、テーマを4つに絞られたご苦労はあったと思います。会場の選択も良く、非常に多くの方々が来られていて、驚きました。産学連携のコーナーもあり、今までにない報告会になったのではないのでしょうか
- ・ 質問を促す工夫があっただけいいのでは
- ・ 現行を読まれるのでどうしてもスピードが速くなり、流れてしまう傾向がある。そのために後ろから考えると、内容の印象が薄くなることもあると感じた
- ・ パネルが小さかったので、もう少し大きく展示してほしかった
- ・ 国民に対する報告と言う姿勢が必要と思う。質問は後日書面で、とするのであれば、その質疑応答をHPで公開されることに期待します
- ・ 第1回ということもあったと思うが、参加者が多く、会場が狭かった
- ・ 若い人（学生等）の参加を
- ・ 報告すべきことが多くあるので、ある程度区分して複数の報告会を検討いただきたい。基礎研究の結果・成果及び設備共同利用のPRを入れて頂きたい
- ・ 10分ほど遅れたところ、座れなくて立ち見となった。次回は会場を変えてほしい

- ・ 5テーマを連続して聴くのは少々きつい。2～3テーマごとに小憩を入れたほうが良い
- ・ 報告テーマは3つぐらいが良いと思います
- ・ もんじゅの改造工事の進捗状況、全体予定の報告もほしかった。P Jの文字等ももう少し大きくしてほしい。後部からは見えにくい
- ・ 各講演から使命感、意欲を理解することができました。COE として友好的成果を着実に生み出されることを祈ります

3. 広報誌、ホームページに意見・要望

- ・ 情報発信、努力のあとがうかがえる。専門家と一般向けの両輪に期待
- ・ ホームページは大変見やすくなった
- ・ 原子力という難しい且つある程度知識がないと分かりづらい内容を政治を含め、分かりやすく作られていると思います。ただやっぱり一般の方の原子力に対するきっかけは少ないと思います
- ・ ITER について最新情報をタイムリーに更新していただく事を希望します
- ・ 古い派手さが残っているのでだんだん整理統合していったらよいのでは
- ・ 字が小さい
- ・ JAEA ニュースは内容があって良い。毎月でなくても良い(季刊など)から、もう1種だしたら如何。
- ・ ホームページが見づらい。目的の情報が探しにくい。テーマ等に応じて分別しているようだが、利用側からは見つけにくい
- ・ ホームページの週報で各サイトの説明をもう少し丁寧に(イベントの意味付けをするなど)作成してほしい
- ・ 広報資料は最新データを使うべき。古いデータを使っているものが多すぎる(最先端技術開発をしている組織に相応しくない)
- ・ HPの検索画面から事業報告書などのテキストのURLをクリックしても開くことができない。組織図が細かすぎて、PDFにしないと読むことができません。今回のシンポジウムの案内は、パンフレットをスキャナで取り込んだだけではちょっと、という感じがしました
- ・ 相当良くなってきている。ますます活用してほしい
- ・ 良いと思います

日本原子力機構 広報部より

第一回報告会に多数来場いただきまして誠にありがとうございました。また、多数の貴重なご意見を頂戴できましたことに感謝申し上げます。いただきましたご意見を、今後の報告会運営や広報活動に活かし、さらに皆様方のご理解を賜れますよう努力いたします。今後とも、よろしくお願い申し上げます。